

## 目次 東大科哲の会誌第 13 号

■ 卷頭言		
科哲を卒業して四半世紀：科学史からの旅	中島 秀人	2
■ 特集：東日本大震災 --- 科哲同人の発信抄録		
いかに「安全」を確立するか	村上 陽一郎	10
天災と人災は同時にやってくる	石 弘之	12
「原発事故 2011 の解説」より	横井 敬	16
求められる能動性と主体性	瀬川 至朗	17
科学技術外交と東日本大震災	薬師寺 泰蔵	19
原発「割り切り」にルソーの問いを	小林 傳司	22
「想定外」を見通す想像力	武部 俊一	24
■ 寄稿		
マヨルカ島ピアノ紀行	金子 務	25
近くて遠い国 --- 韓国旅行記	上野 紘機	33
大震災につけ、三陸縦貫線への思い	岡田 久雄	40
台湾寸描と災害あれこれ	多羅尾 良吉	44
■ 談話会報告		
凶像から読み解く科学・技術の歴史	橋本 毅彦	48
生活者の視点から災害情報を考える	住田 友文	53
■ 遊歩会報告		
作曲の愉しみ	森 幸也	57
都立殿ヶ谷戸庭園	住田 友文	87
■ 私の編著		
科学アカデミーと「有用な科学」	隠岐 さや香	67
■ 科哲同人近著		68
■ 院生から		
「科学史・科学哲学」24 号の紹介		71
■ 報告		
研究室の近況	信原 幸弘	72
教員・卒業生の近況		74
東日本大震災への会務対応抄録		78
総会・理事会議事録及び諸活動報告		80
会計報告		84
■ 理事会からのお願いとお知らせ		86
■ 会員役員名簿		88